

# 補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

41

健康課

補助金の名称 (規則・要綱名)	在宅当番医制運営費(業務形態別)補助金 在宅当番医制運営費(業務形態別)補助金交付要綱			
補助事業の概要 及び交付先	休日における地域住民の救急患者に対する医療確保のための在宅当番医制。平成22年度から休日診療所の開設に併せ外科系1診療機関のみとなった。(西尾市医師会)			
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算	
	3,101,280円	3,101,280円	3,145,000円	
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類	
	市単独補助金	継続的補助金	団体運営費補助金	
交付期間	開始年度	H29	終了年度(予定)	H33
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切	
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの	
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確	
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/03/31受理)	
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		年間10万円超	
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		上回っていない	
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金	
	0円	0円	0円	
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		超えていない	
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		検討している	
	※ 検討していない理由			
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以上である	
	※ 補助対象経費の額	3,101,280円		
(3) 人件費補助金 (積算内訳)				
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続			
	平成29年度、在宅当番医制は、すでにこの地域に定着し活用されており、医療に対する貢献度が高いため。			
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している	

# 補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

41

健康課

補助金の名称 （規則・要綱名）	在宅当番医制運営費（業務形態別）補助金 在宅当番医制運営費（業務形態別）補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	4 健康・福祉 安心できる暮らしを支える健康・福祉のまちづくり
	項による分類	1 地域医療
	施策内容による分類	1 地域医療体制の充実
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 （可能な限り数値的な目標を記載）	休日における地域住民の救急患者に対する医療確保のため、外科系1診療機関の確保	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	継続的に休日の在宅当番医制度として外科系1診療機関の確保がされている	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られる
⑤補助の恩恵を受ける人（受益者）を記載してください。	休日における医療を必要としている地域住民 （平成29年度受診患者数1,752人）	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	西尾市医師会	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	休日診療所は、内科系医療機関として開設している。在宅当番医制は、外科系医療機関として開設し、定着しているため、多様な病状の患者に対応している。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助対象経費の在宅当番医を輪番で確保するために必要な運営費について、実績報告書と収支報告書の提出を求め、提出書類の診査をしている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成12年02月17日
	改定年月日（最終）	平成29年04月01日

# 補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

41

健康課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	3,101,280円	3,101,280円	3,145,000円	
	補助件数	1件	1件	1件	
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	3,101,280円	3,101,280円	3,145,000円
国庫県費等の名称					

## 補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の用途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	<b>現状維持</b>		休日診療については市民の要望や利用度などを確認して、より利用しやすい制度を目指していただきたい。			
<b>補助金等検討委員会の主な意見</b>						
市民ニーズを把握し、在宅医療機関の診療科目にも配慮していただきたい。						
補助金の単価としては適正と考えます。						